

令和元年度 “ふじのくに”^{しみん}士民協働 施策レビュー 改善提案とりまとめシート

1 基本情報

政策	政策3 こどもが健やかに学び育つ社会の形成		
政策の柱	3-1 安心して出産・子育てができる環境づくり		
議論した施策	(1) 家庭・職場・地域の子育て支援の充実 (2) 保育サービス・幼児教育の充実		
実施日／班名	10月27日(日) 第4班	担当部局名	健康福祉部 こども未来課

2 施策改善提案

子育ては、人間の重要な営みのひとつであり、社会全体で子育てを応援することができるよう、県は、環境整備に取り組む必要がある。

子育てに対する経済的な不安感やネガティブなイメージを持つ人がいることから、教育費の助成制度の充実等を図るとともに、子育ては幸福なこととであるということを行政・企業・地域が発信していく必要がある。

また、地域や企業における子育てを応援する機運を醸成するため、家事や育児は女性だけの仕事ではないという男性や企業の意識改革や、シニア世代や子どもといった多様な人材を活用し、安心して子どもを預けることができる制度の充実などに取り組む必要がある。

多様化する価値観から、子どもを持たない家庭、また子どもを持ちたくても持てない家庭への配慮等も必要である。

- 企業が取り組む子育て支援制度への助成や、子育てに優しい企業をPRできる機会を設けるなど、企業による子育てを応援する機運を醸成すべき
- 家事、育児に対する男性の意識改革を図ることが必要
- 教育機関等と連携し、幼少期から家事、育児へ参加するきっかけとなる機会を創出すべき
- 子育てへの精神的な不安の軽減を図るため、相談できる場などのサポート体制を充実すべき
- 子育てへの経済的な不安の軽減を図るため、教育費等を支援するための仕組みを作ることが必要
- 子育てに対する不安感ばかりを強調するのではなく、若い世代に対し、家庭を持つ喜びや楽しさを周知すべき
- 高齢者や子ども等、多様な人材を活用し、地域で子育てを応援する仕組みの構築が必要